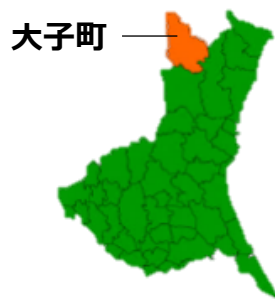
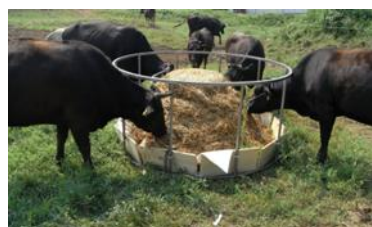


【放牧】（茨城県大子町 大子町和牛繁殖活性化クラスター協議会）

- 大子町は、県銘柄牛「常陸牛」の産地であるが、農家の高齢化率・耕作放棄地率が県内で最も高く、後継者不足などから子牛出荷頭数は減少傾向。
- 平成16年、大子町和牛繁殖活性化協議会が設立、その後大子町和牛繁殖活性化クラスター協議会と名称変更し、耕作放棄地対策及び繁殖雌牛増頭対策として放牧を推進。平成27年度から地域づくり放牧事業に取り組んだほか、重機を用いないで稲WCSを活用し、冬季屋外飼育でも健康な子牛を生ませることが可能な黒毛和種繁殖雌牛低コスト飼養技術（大子方式）を導入。
- 令和4年には放牧農家戸数は27戸、放牧面積は41ha、放牧頭数は257頭であり、今後もCBS（キャトルブリーディングステーション）を活用し、分娩間隔の短縮と増頭を推進中。

放牧の状況

	H30	R1	R2	R3	R4
放牧戸数(戸)	26	27	27	27	27
放牧面積(ha)	35	38	41	41	41



キャトル ブリーディング ステーション(CBS)を活用した場合の分娩間隔および飼養場所

